

NOKYO SHIKA

# JA志賀



## 第58回通常総代会の開催結果について

通常総代会特集号





# ご挨拶

代表理事組合長 新谷 克己

盛夏の候、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素よりJA事業に対し格別のご理解・ご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年度を振り返ります

と、3年続きのコロナ禍により国内景気の低迷が続く中、ロシアによるウクライナ侵攻の影響からエネルギーや輸入食料品価格が高騰し、物価上昇という形で国民生活を圧迫しました。このことは、農業の面においても燃料油や肥料等の資材価格高騰を招き、生産者にとって極めて厳しい状況となったため、JAグループをあげて国・県・市町への支援要請を行い、志賀町からの支援を含め相応の助成対策を獲得することができました。

一方で、令和3年産米で大きく下落した生産者米価については、生産調整による需給改善効果もあり、令和4年

産米は若干の上昇となりました。また、当JA特産の「能登すいか」が史上最高値で推移したほか、令和3年に霜被害で打撃を受けた「能登志賀ころ柿」も予想以上の復活を見せ、計画を上回る販売高となるなど、一部には明るい兆しも見えました。

なお、肥料価格については尿素や塩化カリウムといった輸入原料の価格上昇が落ち着いたとはいえ、依然高止まり水準にあるため、当JAとして6月中に「農業経営継続支援奨励金」を交付させていただくこととしており、令和5年度の営農活動の一助となれば幸いに存じます。

JAを取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しておりますが、令和4年度をスタートとする第6次中期3か年計画に掲げた基本目標必達に向け、その2年目となる令和5年度においては、ポストコロナを見据えた積極的な事業

展開により、「不断の自己改革」と地域の活性化の実現を目指し、役員一同、取組みを進めて参る所存でありますので、組合員の皆様には変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

なお、本年は役員改選の年であり、現在の役員体制は本総代会をもって任期満了となります。コロナ禍に苦しむ3か年ではありましたが、今日までの皆様のご指導・ご鞭撻に深く感謝申し上げますとともに、改選後の役員体制につきましても変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

終わりに、今夏も猛暑・酷暑が予想される中、皆様にはお体ご自愛のうえ一層ご健勝に過ごされますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和5年6月24日

## 改選後役員のご紹介

【理事 16名】

代表理事組合長	新谷 克己(常勤)
常務理事	岡塚 忠浩(常勤)
常務理事	谷内 雅人(常勤)
理事	吉野 成明(非常勤)
理事	高井 政義(非常勤)
理事	大石 守(非常勤)
理事	谷山 秀信(非常勤)
理事	幸地 厚子(非常勤)
理事	筈谷 秋美(非常勤)
理事	古川 勇二(非常勤)
理事	田頭 善彦(非常勤)
理事	細川 一元(非常勤)
理事	大矢 秀造(非常勤)
理事	畑中 正夫(非常勤)
理事	岡 清之(非常勤)
理事	裏 貴大(非常勤)

【監事 4名】

代表監事	藤田 修一(常勤)
監事	小橋 敦郎(非常勤)
監事	須間伸一郎(非常勤)
員外監事	高山 孝(非常勤)

# 『農業と地域に根ざし、 地域社会と共存する JAをめざして』



## 第58回 通常総代会開催

JA志賀の第58回通常総代会は、6月24日（土）午前10時より志賀町文化ホールで開催しました。

実総代数516名のうち、483名（本人出席184名、議決権行使299名）

の出席により総代会が成立し、新谷組合長の開会挨拶、小泉志賀町長のご祝辞の後、議長に畠下幹男総代（土田地区）を選任し、議案の審議に入りました。

慎重なる審議の結果、令和4年度の事業報告及び剰余金処分案のほか、上程された全議案が原案通り可決・承認されました。



### 第58回 通常総代会提出議案

#### 【審議事項】

第1号議案 令和4年度事業報告及び剰余金処分案承認の件

第2号議案 令和5年度事業計画の設定の件

第3号議案 定款および定款附属書総代選挙規程の一部変更の件

第4号議案 役員を選任の件

第5号議案 理事及び監事の報酬の件

第6号議案 理事及び監事の役員退職慰労金の件

#### 【報告事項】

① 令和4年度貸借対照表、損益計算書、注記表、附属明細書並びに独立監査人及び監事の監査報告について

② 「株式会社JAアグリサポートしか」令和4年度事業報告及び令和5年度事業方針について

③ 「JAバンク基本方針」の変更について

# 令和4年度 事業報告

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで

令和4年度は、3年続きのコロナ禍の影響が色濃く出る中、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化が国際問題に発展するなど、世界経済に大きな影響を及ぼしました。国内経済においても、為替レートが一時1ドル150円台という32年ぶりの円安進行から、エネルギーや輸入食料品価格が高騰し景気低迷下の物価上昇を招きました。

こうした中、JA事業はウィズコロナを基本とし、徐々に従来型の各種会合やイベント開催に努めてきました。農産物価格については、令和4年産の米価が需給改善もあり令和3年産対比で上昇したほか、スイカが過去最高値で推移、令和3年に霜被害で大きな打撃を受けたところ柿も計画を上回る販売高となるなど、明るい兆しも見え始めました。一方で、燃油・肥料等農業資材価格の高騰が生産者の重荷となったため、JAグループをあげて行政に対する支援要請を行い、一定の助成対策を確保することが出来ました。

経営面では、長引くコロナ禍と超低金利から厳しい収益環境が続きま

したが、第6次中期3か年計画(令和4年度～6年度)の初年度として経営基盤の強化に取組む中、資金の効率運用や農産物の有利販売に注力するとともに、経費削減に努めました。

損益につきましては、組合員・利用者の皆様のおかげによりまして、経常利益60,374千円、税引前当期利益54,469千円という結果を残すことができました。

ここに第58年度における主要事業の概要についてご報告致します。

## 信用事業

基盤とする「農業・くらし・地域」の各領域において、特別利率設定による当JA独自企画の「退職金定期貯金」や「夏・冬の貯金キャンペーン」の取組みをはじめ、「年金相談会」や「終活・相続セミナー」等を開催し、組合員・利用者目線の取組み展開をし、顧客基盤の維持・拡大を図りました。

また、貸出においては、生活資金への低金利提供に努めるとともに、

農業関連資金の保証料助成など組合員・利用者ニーズに対応できる体制に取組みました。

## 共済事業

組合員・利用者一人一人に寄添った安心と満足の提供を実現するため、最適な保障提案ができるよう利用者満足度向上と、ライフアドバイザー(渉外課)、スマイルサポーター(窓口共済担当者)体制を基本とした繋がり強化に向け取組みました。

## 購買事業

肥料等生産資材価格の高騰に対応するため、早期予約の推奨や大口農家への直送対応により価格上昇幅抑制を図るとともに、国・県による対策事業にかかる申請手続を支援しました。

農機・自燃部門では、より良いサービス提供と技術力向上に努めるとともに農業者向けに燃料高騰対策をタイムリーに実施しました。

## 営農指導・販売事業

基幹作物の米では、エコ技術による志賀米・能登米コシヒカリの生産

拡大を図った結果、コシヒカリ販売実績でエコ栽培米比率は75.7%(前年対比1.5P増)となりました。米の販売実績は、飼料用米が増加した反動から53,502俵(計画対比102.2%、前年対比98.3%)と減少しましたが、「うまい・きれいな石川米づくり+1運動」を基本として高品質・安定生産に取組んだ結果、1等米比率で97.2%(前年対比4.9P増)、米価の回復から販売高は591百万円(計画対比113.4%、前年対比105.9%)となりました。

志賀米を中心とした直売では、契約時点での不透明な経済環境から契約数量13,960俵(前年対比500俵増)に留まりましたが、県外小売店から志賀米コシヒカリを差別化販売したいとの要望があるなど、ブランド力の効果が見え始めてきました。

園芸では、3年ぶりのトップセールスによるPRを行なった「能登すいか」が高単価で推移し、「能登志賀ころ柿」が前年の凍霜害から9割回復して輸出货量も顕著に伸びました。また、首都圏における販促活動や異業種とのコラボレーションによる新ブランド品の開発、加工業者と連携した産地育成などに取組んだ結果、販売高は204百万円

令和4年度の主な事業実績

(単位:千円・千ポイント)

項目	計画額	実績額	対比
貯金(平均残高)	46,826,000	46,524,734	99.4%
貸出金(平均残高)	6,116,000	5,921,681	96.8%
購 買 品	1,577,000	1,616,054	102.5%
販 売 品	1,200,000	1,381,556	115.1%
長期共済(ポイント)	1,920	1,808	94.2%
年金共済(ポイント)	60	79	131.7%

利用事業

(計画対比101.5%、前年対比141.4%)となりました。

水稻育苗施設では、機械の老朽化を機に播種作業を志賀育苗センターに一本化して運用コストの増加を抑えることで、供給価格の維持を図りました(利用実績122,869箱)。共同乾燥調製施設では、増穂ライスセンターの飼料用米受入れによる利便性の向上や、フレコン購入助成の継続実施など利用率向上に努めた結果、施設利用量は主食用米1、

290t(21,517俵)、飼料用米408t(6,825俵)の実績となりました。新たにスマート農業への取組みとして、IT企業と連携し、JAGドリサポートしかの水稲圃場を中心にドローン散布防除の試験運用を実施しました。今後は、山間部地域での共同防除や集落営農組織を中心とした追肥等の部分散布における労力補完を目的に利用事業の整備を行なっていくこととしています。



大家弘美  
(農機センター)

永年勤続  
職員表彰

6月24日(土)に開催された当組合通常総代会の席上、永年勤続職員表彰が行われました。

【永年勤続20年】

中央支店年金友の会

「喜寿・米寿お祝い」

令和4年度よりあらたに「中央支店年金友の会」を発足し、喜寿、米寿を迎えられる会員にお祝いを贈呈する企画を、令和5年度も引き続き行うこととなりました。

4月に喜寿を迎えられた、吉岡恵美子さん(志賀町上棚)を皮切りに本年度は昨年の約2倍となる119名(米寿44名、喜寿75名)の対象者を予定しております。お誕生日まで、お楽しみにお待ちください!!

中央支店年金友の会役員

(任期:令和6年度まで)

会 長	山崎 哲夫(土田地区)
副会長	山瑞 周作(下甘田地区)
副会長	平澤 勇(高浜地区)
監 事	野村 征人(志加浦地区)
会 計	山下 一彦(中甘田地区)
幹 事	寺田 重男(堀松地区)
幹 事	川幡 正(加茂地区)
幹 事	堤谷 一博(上熊野地区)

よろしくお祈いします!!



4/26 吉岡恵美子さん宅:山崎会長と

## 令和 4 年度 貸借対照表 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 信用事業資産	47,398,688,691
(1) 現 金	177,757,548
(2) 預 金	32,720,069,230
系統預金	31,299,371,704
系統外預金	1,420,697,526
(3) 有価証券	8,707,183,200
国 債	5,501,960,000
地方債	1,366,523,200
社 債	1,258,320,000
受益証券	580,380,000
(4) 貸出金	5,792,729,986
(5) その他の信用事業資産	49,171,997
未収収益	36,450,756
その他の資産	12,721,241
(6) 貸倒引当金	▲ 48,223,270
2. 共済事業資産	2,540,472
(1) その他の共済事業資産	2,540,472
3. 経済事業資産	533,852,221
(1) 受取手形	1,009,744
(2) 経済事業未収金	434,990,119
(3) 経済受託債権	2,510,318
(4) 棚卸資産	95,356,176
購買品	61,985,112
その他の棚卸資産	33,371,064
(5) その他の経済事業資産	15,692,967
(6) 貸倒引当金	▲ 15,707,103
4. 雑資産	104,444,788
5. 固定資産	976,308,269
(1) 有形固定資産	976,256,005
建 物	2,473,194,232
機械装置	701,442,756
土 地	120,516,675
その他の有形固定資産	441,143,160
減価償却累計額	▲ 2,760,040,818
(2) 無形固定資産	52,264
その他の無形固定資産	52,264
6. 外部出資	2,164,570,695
(1) 外部出資	2,164,570,695
系統出資	2,054,772,000
系統外出資	85,190,001
子会社等出資	24,608,694
7. 繰延税金資産	76,032,223
資産の部合計	51,256,437,359

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	46,330,543,161
(1) 貯 金	46,299,395,239
(2) その他の信用事業負債	31,147,922
未払費用	2,814,291
その他の負債	28,333,631
2. 共済事業負債	211,973,983
(1) 共済資金	118,178,138
(2) 未経過共済付加収入	87,515,958
(3) 共済未払費用	4,867,567
(4) その他の共済事業負債	1,412,320
3. 経済事業負債	226,239,259
(1) 経済事業未払金	156,855,389
(2) 経済受託債務	50,765,794
(3) その他の経済事業負債	18,618,076
4. 雑負債	190,472,022
(1) 未払法人税等	4,919,700
(2) 資産除去債務	84,200,000
(3) その他の負債	101,352,322
5. 諸引当金	239,944,849
(1) 賞与引当金	10,260,350
(2) 退職給付引当金	208,265,432
(3) 役員退職慰労引当金	21,190,455
(4) ポイント引当金	228,612
負債の部合計	47,199,173,274
(純資産の部)	
1. 組合員資本	4,036,072,680
(1) 出資金	868,635,000
(2) 利益剰余金	3,178,179,680
利益準備金	1,087,949,698
その他利益剰余金	2,090,229,982
リスク管理積立金	709,892,494
農業経営基盤積立金	145,000,000
施設整備積立金	324,000,000
税効果積立金	82,995,595
特別積立金	500,913,815
当期末処分剰余金	327,428,078
(うち当期剰余金)	43,880,335
(3) 処分未済持分	▲ 10,742,000
2. 評価・換算差額等	21,191,405
(1) その他有価証券評価差額金	21,191,405
純資産の部合計	4,057,264,085
負債及び純資産の部合計	51,256,437,359

## 単体自己資本比率 23.97%

## 組合員数

資格区分	期 首	当期増加	当期減少	期 末	増 減
正 組 合 員	3,483	28	123	3,388	▲ 95
准 組 合 員	1,917	22	56	1,883	▲ 34
計	5,400	50	179	5,271	▲ 129

## 出資口数

(単位:口)

資格区分	期 首	期 末	増 減
正 組 合 員	762,390	742,861	▲ 19,529
准 組 合 員	114,772	115,032	260
処分未済持分	9,361	10,742	1,381
計	886,523	868,635	▲ 17,888

出資 1 口金額 1,000円  
 払込済出資総額 868,635,000円

令和4年度 損益計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額
<b>1. 事業総利益</b>	<b>864,636,701</b>
事業収益	2,273,432,658
事業費用	1,408,795,957
(1) 信用事業収益	316,656,143
資金運用収益	296,255,002
(うち預金利息)	(133,848,599)
(うち有価証券利息)	(74,568,859)
(うち貸出金利息)	(52,341,917)
(うちその他受入利息)	(35,495,627)
役務取引等収益	10,364,306
その他経常収益	10,036,835
(2) 信用事業費用	31,552,911
資金調達費用	3,543,717
(うち貯金利息)	(3,194,741)
(うち給付補填備金繰入)	(125,357)
(うちその他支払利息)	(223,619)
役務取引等費用	4,557,692
その他経常費用	23,451,502
(うち貸倒引当金繰入額)	(1,809,126)
<b>信用事業総利益</b>	<b>285,103,232</b>
(3) 共済事業収益	279,258,439
共済付加収入	261,805,595
その他の収益	17,452,844
(4) 共済事業費用	22,365,553
共済推進費	8,469,766
その他の費用	13,895,787
<b>共済事業総利益</b>	<b>256,892,886</b>
(5) 購買事業収益	1,401,546,724
購買品供給高	1,331,259,699
購買手数料	8,579,991
修理サービス料	41,752,123
その他の収益	19,954,911
(6) 購買事業費用	1,182,624,932
購買品供給原価	1,094,397,069
購買供給費	21,905,659
その他の費用	66,322,204
(うち貸倒引当金繰入額)	(7,828,593)
<b>購買事業総利益</b>	<b>218,921,792</b>
(7) 販売事業収益	69,108,276
販売品販売高	2,134,958
販売手数料	54,586,255
その他の収益	12,387,063
(8) 販売事業費用	14,285,295
販売品販売原価	1,380,393
販売費	7,768,405
その他の費用	5,136,497
(うち貸倒引当金戻入益)	(▲ 39,000)
<b>販売事業総利益</b>	<b>54,822,981</b>
(9) 保管事業収益	15,882,372

科 目	金 額
(10) 保管事業費用	13,065,719
<b>保管事業総利益</b>	<b>2,816,653</b>
(11) 加工事業収益	2,639,656
(12) 加工事業費用	380,935
<b>加工事業総利益</b>	<b>2,258,721</b>
(13) 利用事業収益	160,878,125
(14) 利用事業費用	119,759,249
(うち貸倒引当金繰入額)	(85,656)
<b>利用事業総利益</b>	<b>41,118,876</b>
(15) 葬祭事業収益	9,945,460
(16) 葬祭事業費用	3,865,329
<b>葬祭事業総利益</b>	<b>6,080,131</b>
(17) 福祉事業収益	28,094,095
(18) 福祉事業費用	24,907,392
<b>福祉事業総利益</b>	<b>3,186,703</b>
(19) 指導事業収入	1,052,958
(20) 指導事業支出	7,618,232
<b>指導事業収支差額</b>	<b>▲ 6,565,274</b>
<b>2. 事業管理費</b>	<b>841,466,955</b>
(1) 人件費	614,313,109
(2) 業務費	71,791,292
(3) 諸税負担金	18,995,738
(4) 施設費	135,286,392
(5) その他事業管理費	1,080,424
<b>事業利益</b>	<b>23,169,746</b>
<b>3. 事業外収益</b>	<b>39,016,530</b>
(1) 受取雑利息	205,889
(2) 受取出資配当金	36,258,000
(3) 賃貸料	1,481,122
(4) 雑収入	1,071,519
<b>4. 事業外費用</b>	<b>1,812,019</b>
(1) 寄付金	10,000
(2) 雑損失	1,802,019
<b>経常利益</b>	<b>60,374,257</b>
<b>5. 特別利益</b>	<b>35,302,287</b>
(1) 災害共済金	1,252,287
(2) 一般補助金	34,050,000
<b>6. 特別損失</b>	<b>41,207,249</b>
(1) 固定資産処分損	1,344,515
(2) 固定資産圧縮損	34,050,000
(3) 減損損失	5,512,734
(4) 臨時損失	300,000
<b>税引前当期利益</b>	<b>54,469,295</b>
法人税、住民税及び事業税	11,728,356
法人税等調整額	▲ 1,139,396
<b>法人税等合計</b>	<b>10,588,960</b>
<b>当期剰余金</b>	<b>43,880,335</b>
当期首繰越剰余金	283,547,743
<b>当期末処分剰余金</b>	<b>327,428,078</b>

科 目	金 額
1. 当期末処分剰余金	327,428,078
2. 剰余金処分量	44,236,455
(1) 利益準備金	10,000,000
(2) 任意積立金	24,139,396
リスク管理積立金	23,000,000
税効果積立金	1,139,396
(3) 出資配当金	10,097,059
3. 次期繰越剰余金	283,191,623

1. 出資配当は年1.2%の割合である。
2. 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額10,000,000円が含まれている。

## 令和5年度 事業計画

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

## 基本方針

## ◆ 経営基本方針 ◆

令和5年度は、「第6次中期3か年計画」の第2年度に当たり、引き続き基本目標達成に向けた不断の自己改革の実践に取り組めます。生産資材価格をはじめとする諸物価の高騰により、農業情勢は一段と厳しさを増していますが、ポストコロナを見据えた積極的な事業展開により地域社会と共存するJAの実現を目指します。

## ◆ 基本目標 ◆

- ◆ 農業所得の増大と農業生産の拡大
- ◆ 組織基盤の確立と地域の活性化
- ◆ 経営基盤の強化

## ◆ 重点実施事項 ◆

- (1) 組合員のメンバーシップ強化による組織基盤強化
- (2) 経営基盤の確立・強化
- (3) 地域の活性化への貢献

## 主要事業目標

(単位：千円・千ポイント)

項目	計画額
貯金(平均残高)	47,000,000
貸出金(平均残高)	6,200,000
長期共済新契約高	1,700
年金共済新契約高	64
購買事業取扱高	1,598,000
販売事業取扱高	1,234,400

## 損益計画

(単位：千円)

項目	計画額
事業総利益	842,985
事業管理費	831,453
事業利益	11,532
経常利益	50,152
税引前当期利益	47,152
当期剰余金	42,082

## 施設整備計画

(単位：千円)

施設名	資産種類	内容	事業費
志賀町水稻育苗センター	機械装置	苗箱自動積重装置及び出芽室サーキュレーター更新 出芽室扉補修	34,524
増穂ライスセンター	機械装置	湿式集塵装置設備改修	15,000



# 各事業計画 重点実施事項

## 信用事業

- (1) 農業融資実施体制の構築・強化  
 営農・経済部門との事業間連携による資金ニーズの掘出しをはじめ、農業近代化資金や農業バックアップ資金等、農業融資の対応強化に努めます。
- (2) 生活資金ニーズへの対応強化  
 住宅・マイカーローンなど、金利軽減項目を活用した契約時のメーン化徹底をはじめ、ネットローンを活用した効率的な推進と新規利用拡大に努めます。
- (3) ライフイベントに応じた提案活動の実施  
 来店機会を活用したネットバンク・J Aカードのセット推進等付帯取引（メイン化取引）の拡充をはじめ、キャッシュレス決済のJ A口座利用促進に努めます。
- (4) リソース創出（人材・時間）に向けた業務・事務効率化  
 J Aバンクアプリ・J Aネットバンク・法人I B等の利用促進に努め、創出されたリソースにより金融仲介機能（貸出体制、窓口担当者の戦力化）を構築します。
- (5) 不祥事未然防止・内部管理体制の構築  
 不祥事未然防止への取組み強化や内部管理体制構築をはじめ、アンチ・マネー・ロンダリング対応の体制整備を図ります。

## 共済事業

- (1) 新たな生活様式への敏速な対応  
 ・「対面」「非対面」を融合した契約者・組合員へのフォロー活動の実践  
 ・ひと保障を中心とする「ひと、いえ、くるま」のバランスの取れた総合保障の提供  
 ・地域貢献活動を通じた農業・地域への貢献と、組合員をはじめとする地域住民との繋がりの強化
- (2) 長期安定的な事業展開  
 ・ライフアドバイザーやスマイルサポーターの体制整備と機能強化  
 ・最良の保障提供と利用者満足に向けた提案活動の対応力および「質」の向上
- (3) J A共済契約者が長期に安心できる実・浸透  
 ・利用者満足を意識した提案活動の充実・浸透  
 ・基盤・スキームづくり  
 ・コンプライアンス態勢の強化  
 ・共済事業向けの総合的な監督指針改正への対応  
 ・新たな健全性規制を見据えた総合リスク管理の強化

## 購買事業

- (1) 購買事業体制の強化
  - (2) 仕入機能の強化
  - (3) 農業者のコスト低減支援
  - (4) 運営力・運営体制の強化
  - (5) 総合展示会・農業まつり・部門別展示会・農作業安全講習会の実施
- 資材センター

- ・大口利用者へのコスト低減資材の提案（大口直送）及び大口割引の継続
- ・仕入時期の工夫による予約購買の推奨
- ・営農部との連携による肥料・農薬等の研修会実施
- ・自己取り扱点の利便性及びタイムリーな肥料・農薬の提供指導

## ○農機センター

- ・農業機械使用に必要な運転免許の取得呼びかけの実施
- ・農作業の省力化・効率化対応に繋がる農機の活用提案強化・導入促進の取組み
- ・低価格モデル農機推奨と農業者向け実演試乗会の実施
- ・農機の大規模・高性能化に対応した技術・知識向上に向けた研修会等への参加

## ○自動車整備工場

- ・低価格営業車両（軽四トラック等）の提供
- ・中古自動車販売拡大の取組み
- ・顧客満足度向上に向けた研修会等への参加及び資格取得の実施

## ○給油所

- ・集落営農組織・大規模農家への営農用燃料助成の実施
- ・特売日やイベント・キャンペーンの実施
- ・L Pガスの燃料転換・保安改善の取組み

## 指導事業・販売事業

- (1) 町・県と連携して人・農地プランなどを基に地域農業者の将来の見通しに対して支援すべき施策を明確化して次世代農業者の確保に取組み、管内農業生産基盤の安定・強化に努めます。

- (2) 「志賀米」・「能登米」コシヒカリを差別化販売する小売店等を訪問して販売力アップの要素を探り、米卸先と販売戦略を話しながら価格交渉を行い、直売数量の増加に努めます。
- (3) 生産農家のニーズに応える営農支援活動の強化と、スマート農業や情報提供など作業の省力化と生産コスト低減に取組みます。
- (4) 南瓜の産地再生にあたり、出荷労力の軽減に向けた体制整備に取組みます。

## 利用事業

- (1) 育苗センター  
 ・主食用米では、コスト低減に向けたゆめみづほの高密度苗試験生産に取組みます。  
 ・管内の主要病害である紋枯病対策として、播種同時薬剤散布による育苗試験と圃場実証に取組みます。
- (2) 共同乾燥調製施設（カントリーエレベーター・ライスセンター）  
 ・主食用主力品種のコシヒカリでは、「志賀米」「能登米」「慣行米」の区分荷受けによる有利販売に努めるとともに、「ゆめみづほ」「ひやくまん穀」による作期分散荷受け対応など生産農家に合せた施設稼働を実施します。
- (3) 増穂ライスセンターでは、主食用米と飼料用米を併用した荷受けを実施と、更なる組合員の利便性と利用率向上に向けた大麦荷受け体制の構築に取組みます。
- (4) 全施設対象のスタンドバックフレコン購入助成措置をはじめ、主食用米の利用者割引や大口割引設定を継続実施し、利用率向上に努めます。

# 新採職員

海恵 啓明

【金融課】

- ① サッカー観戦
- ② 失敗は成功のもと  
失敗から学べることも多いから
- ③ 組合員の皆様から信頼される職員になれるよう精進いたします



- ① 趣味
- ② 好きな言葉とその理由
- ③ 入組後の抱負

## 令和5年度 金融共済部 渉外課（ライフアドバイザー）紹介

組合員をはじめ利用者皆様一人一人に寄添い、最良の保障提供をはじめ、安心と満足に向けた提案活動を実施致します。



宜しくお願い致します。

J A 共済に関するご要望やご相談など、どんなことでもご連絡下さい。お待ちしております。

金融共済部 渉外課 ☎32-1184

【職員名(管轄地区)】

- 木村 真澄 (志加浦地区)  
細川美津恵 (加茂地区)  
新田 美和 (中甘田・土田地区)  
加藤 睦幸 (高浜・土田地区)  
村山 綾子 (下甘田・堀松地区)  
藤田真規子 (高浜・上熊野・熊野地区)  
小門前翔悟 (土田・東増穂・福浦地区)  
池勝 真澄 (富来川・西増穂・西海地区)  
谷内めぐみ (富来・西海・西浦地区)

## 初夏の展示会 2023

6月3日(金)4日(土)の2日間、夏の総合展示会を本店にて開催致しました。

農機自動車の展示の他、キッチンカー・露店・Aコープ商品の特売・お客様の共済の見直しコーナー等をおこないました。

初日は、あいにくの雨となりましたが、翌日は晴天に恵まれ2日間合計で約1,500人と沢山の来場者で盛り上がりました。

今後の秋の農業まつり等も、ご期待ください。



## 富来支店年金友の会グラウンドゴルフ大会開催

令和5年6月17日(土)、増穂が浦グラウンドゴルフ場で会員42名が参加して、富来支店年金友の会グラウンドゴルフ大会を開催しました。天気にも恵まれ暑いくらい陽気となりましたが、参加者は終始なごやかなムードでプレーし、互いに親睦をふかめることが出来ました。

大会結果は次の通りです。

### 【男子の部】

1位 上田 友則 さん  
2位 山中 直治 さん  
3位 竹田 忠 さん

### 【女子の部】

1位 矢田美津子 さん  
2位 上田よし子 さん  
3位 吉峰恵美子 さん



## J A 志賀女性大学 (志賀地区) グリーンレディースカレッジ (富来地区)

# 開 講

### 女性大学 (志賀地区)

6月14日、約4年ぶりの開講式にて村山康子部長の挨拶でスタートしました。第1回講座として、志賀町健康福祉課主任保健士・酒井祥代氏による志賀町の高齢化に伴う現状と石川県理学療法士会会長・北谷正浩先生による「コロナ後のこれからの介護予防」と題して講演と体操が行われ、参加者からは「これからも健康に気をつけよう」とこやかな声が聞かれました。

女性大学では「ふれあいの場」として、地域の皆様との学習活動を通じて交流を深めていきたいと考えております。是非、皆様のご参加をお待ちしております。

### ◆ 今後の開催予定 ◆

開催月	内 容
令和5年10月	県政バス
令和5年11月	北電ミニ講座&寄せ植え
令和5年12月	蓬莱づくり
令和6年3月	野菜栽培講習会



【お問い合わせ】 営農部 ☎32-0102 担当 坂

### グリーンレディースカレッジ (富来地区)

5月17日にグリーンレディースカレッジを開講しました。農業・食・健康・暮らしなどについて学習し、仲間と集うことにより自分らしく豊かで幸せに生活できることを目的に1年間を通して様々な講座を開講しています。第1回講座は「野菜定植後の管理について」、第2回講座は6月1日に県政バス(小松方面)に行ってきました。参加者から「久しぶりに楽しかったわあ」と聞くと開講してよかったという気持ちになります。

現在会員は64名、平均年齢はちょっとお高い

ですが皆さん元気でお肌もツルツルです。皆さんも私達と一緒に和気あいあいと講座を受講してみませんか？

### ◆ 今後の開催予定 ◆

開催月	内 容
令和5年7月	北電ミニ講座
令和5年11月	蓬莱づくり
令和6年1月	法話
令和6年2月	手芸教室

【お問い合わせ】 富来営農センター ☎42-0059 担当 西村

## J A 志賀新採職員について

- 募集人数 正職員 若干名
- 応募資格 2024年3月に大学・短大・専門・高等学校を卒業見込みの者、及び既卒5年以内の者。
- 勤務条件 J A 志賀HP・マイナビ・リクナビに掲載
- 提出書類 履歴書・卒業見込証明書・成績証明書
- 採用窓口 〒925-0154 志賀町末吉新保向1番地 J A 志賀本店 総務課 TEL0767-32-1155

### 【職員人事異動のお知らせ】（6月）

#### 《部長職》

監査室 室長	中野 勝
総務部 部長 兼 企画管理課長	畑田 林栄
金融共済部 部長 兼 金融課長	加藤 庄一
営農部 部長	土田 茂樹
営農部 次長（部長待遇） 兼 富来営農センター長	川端吉太郎
経済部 部長	高井 清勝
中央支店 支店長	田淵 秀治

#### 《部次長職》

総務部 次長 兼 総務課長 兼 審査課長	星場 慶
営農部 次長 兼 営農課長（指導担当）	上嶋 都夫
営農部 次長 兼 営農課長（販売担当） 兼 志賀営農センター長	荒木 勝

#### 《課長職》

経済部 経済課長	新谷 紀久* <sup>1</sup>
経済部 農機自燃課長	花島 幹夫

\*1（4月に異動）



## 野菜づくり講習会



### 「身近な野菜づくりについて」

講師：NPO 法人いしかわ農林水産サポートネット  
田治 裕敏 氏

日程：令和5年7月27日（木）  
13:30～15:30（受付12:30～）

場所：志賀町文化ホール 大ホール

参加費：無 料



※当日受付先着 200名様に野菜の種をプレゼント！  
種類と数には限りがございます。

主催：志賀町みどり会 しか農業振興協議会  
問合せ：0767-32-9221

（志賀町農林水産課内 担当 範浄）

